

地方独立行政法人愛知県美術館機構 職員募集案内 (3/13 募集)

愛知県では、愛知県美術館と愛知県陶磁美術館を2館一体的に運営する「地方独立行政法人 愛知県美術館機構」を設立する準備を進めており、新法人で勤務する職員の採用活動を行っています。

2026（令和8）年6月1日以降に採用の愛知県美術館機構で勤務する「広報担当職員（任期付）」を以下のとおり募集します。皆様のご応募をお待ちしています。

なお、募集事務は愛知県が行いますが、「地方独立行政法人 愛知県美術館機構」（2026（令和8）年4月1日設立予定）において試験を実施し、原則、2026（令和8）年6月1日以降に採用します（愛知県職員とはなりません。）。

1 試験の種類、試験区分、採用予定人員等

種類	項目	内容
職員	区分	広報担当
	募集人数	若干名

2 応募資格

(1) 年齢

次のいずれかに該当する人

ア 1966（昭和41）年4月2日から2004年（平成16年）4月1日までに生まれた人

イ 2004（平成16）年4月2日以後に生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した人（2026（令和8）年3月31日までに卒業する見込みの人を含む。）

(2) 資格・免許、業務経験等

必須ではありませんが、下記の資格の取得や業務経験が望ましいです。

区分	資格・免許、業務経験等
広報担当	・学芸員資格（博物館法（昭和26年法律第285号）第5条第1項に定める学芸員となる資格） ・美術館や国際芸術祭等における、広報関連業務の経験（1年以上）

(3) その他

ア 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当する人は受験できません。

（以下はその内容です。）

(ア) 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人

(イ) 愛知県において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人

(ウ) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

イ 日本国籍を有しない人の採用後の配置等について

(ア) 日本国籍を有しない職員は、公権力の行使又は公の意思の形成への参画に携わる職以外の職に配置されます。

(イ) 日本国籍を有しない人は、就職が制限される在留資格の場合には採用されません。

ウ 1999（平成11）年改正前の民法の規定による準禁治産宣告を受けている人（心身耗弱を原因とするもの以外）は受験できません。

3 雇用予定期間

採用日（原則として2026（令和8）年6月1日以降を予定）から2029（令和11）年3月31日（ただし、勤務成績が良好であると認められた場合は、採用した日から2031（令和12）年3月31日までの範囲で更新することがあります。）

4 給与等（法人設立後に決定されますので、現時点での見込みです。）

- (1) 初任給（大卒の例）
約263,900円（給料及び地域手当）
- (2) 職歴などがある場合は、一定の方法により加算されることがあります。
- (3) 期末・勤勉手当、時間外勤務手当、通勤手当、住居手当、扶養手当等の諸手当がそれぞれ条件に応じて支給されます。
- (4) 昇給制度があります。

5 休日及び休暇、勤務時間

4週8休制（土曜日、日曜日及び祝日を含む。）。休暇として年次有給休暇（20日）及び特別休暇（夏季休暇等）があります。勤務時間は、原則1日あたり7時間45分です（時間外勤務を命ずることがあります。）。

6 勤務先・業務内容等

地方独立行政法人愛知県美術館機構が運営する愛知県美術館、または愛知県陶磁美術館に勤務し、美術館における各種広報事務の統括（記者発表対応、各種メディアへの情報発信・アプローチ、取材対応、各種広報物作成（記者発表資料、チラシ・ポスター、SNS等）、広告出稿関係業務等の広報及び広報に関する調整への対応、協賛活動、美術館が関係する国際芸術祭に関する広報の連携等含む）業務に従事していただきます。また、一般行政事務にも従事いただく場合があります。

7 応募方法

封筒に「2026（令和8）年度地方独立行政法人愛知県美術館機構 職員受験申込（[広報担当職員]）」と朱書きして、(1)から(3)の必要書類を下記まで送付してください。

応募の締め切りは、2026（令和8）年3月31日（火）[消印有効]とします。

その後、第一次選考（書類選考）を行います。

- (1) 市販の履歴書（氏名、生年月日、現住所、連絡先、学歴・職歴、資格・免許の記載欄及び写真の貼付欄があるものに限り。）
なお、学芸員資格を有する場合はその旨を明記すること。
- (2) 最終学歴の卒業（修了）証明書
なお、学芸員資格を有する場合はその証明書も提出すること。
- (3) 小論文
「これまでの美術館展覧会や国際芸術祭などの広報関係事務に関する経験から、または新たに広報関係事務に従事することになることから、美術館や国際芸術祭の広報業務について必要と考えることや業務を担っていく上で、自身がどのような役割を果たしていきたいか」について、1,200字程度で作成し提出すること（末尾に文字数を記載すること）。

<送付先、応募に関する問い合わせ先>

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

愛知県民文化局県民生活部県民総務課総務・企画・広報グループ

電話：052-954-6158（ダイヤルイン）

8 日程及び試験内容

(1) 第1次選考 書類選考

(2) 第2次選考

ア 試験日程 2026（令和8）年4月に実施予定（合格者に通知します。）

イ 試験会場 愛知芸術文化センター内会議室

ウ 試験内容 面接選考

※ 第2次選考の詳細は、第1次選考合格発表のとき、愛知県県民総務課 Web ページに掲載してお知らせします。

※ 第2次選考案内の発送は、4月中旬頃の予定です。なお、4月22日（水）頃までに届かない場合は、必ず愛知県県民文化局県民総務課にお問い合わせください。

9 合格発表日及び発表場所

区分	合格発表日	発表場所 (合格者の受験番号を掲示します。)
第1次選考	2026（令和8）年4月上旬	愛知県県民総務課 Web ページ (地方独立行政法人愛知県美術館機構 Web ページ)
第2次選考	2026（令和8）年4月下旬	

[注] 1 第2次選考の合格者（補欠合格者も含む）には郵便で通知します。なお、愛知県県民総務課 Web ページ（地方独立行政法人愛知県美術館機構 Web ページ）での合格発表は発表日の午前11時30分頃から確認できます。

2 合否について電話による照会には応じておりません。

10 採用の時期

採用は、原則として2026（令和8）年6月1日以降となります。

11 その他

(1) 提出いただいた書類等は返却いたしません。愛知県で責任をもって廃棄します。

また、受験に際して愛知県が収集した個人情報、職員採用試験に向けた円滑な事務の遂行のために用い、個人情報の保護に関する法律に基づき適正に管理します。

地方独立行政法人愛知県美術館機構の設立後、職員採用試験の円滑な遂行に用いるため、地方独立行政法人愛知県美術館機構に引き継ぎ、同機構において個人情報の保護に関する法律に基づき適正に管理します。

(2) 本件は、地方独立行政法人愛知県美術館機構が2026（令和8）年4月1日設立することを前提条件として設立所管局である愛知県県民文化局が募集するものです。

契約は、原則として2026（令和8）年6月1日付けで地方独立行政法人愛知県美術館機構と締結することとなります。設立が延期となった場合は、今回の採用決定は無効となります。

<試験全般に関する問い合わせ先>

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

愛知県県民文化局県民生活部県民総務課総務・企画・広報グループ

電話：052-954-6158（ダイヤルイン）

<業務内容及び地方独立行政法人制度に関する問い合わせ先>

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

愛知県県民文化局文化部文化芸術課改革第二グループ

電話：052-954-7481（ダイヤルイン）